

# 令和7年度生息状況調査結果 (イノシシ：県中部区域)

## 1. 目的

令和7年度に実施した指定管理鳥獣捕獲等事業（以下「指定管理事業」という。）の事業評価、及び令和8年度の指定管理事業実施計画を検討するための基礎情報とすることを目的として、イノシシの痕跡密度調査（以下「痕跡調査」という。）及び自動撮影カメラ調査（以下「カメラ調査」という。）を実施した。

## 2. 調査対象区域

痕跡調査ルート及びカメラ調査地点の分布を図1に示す。

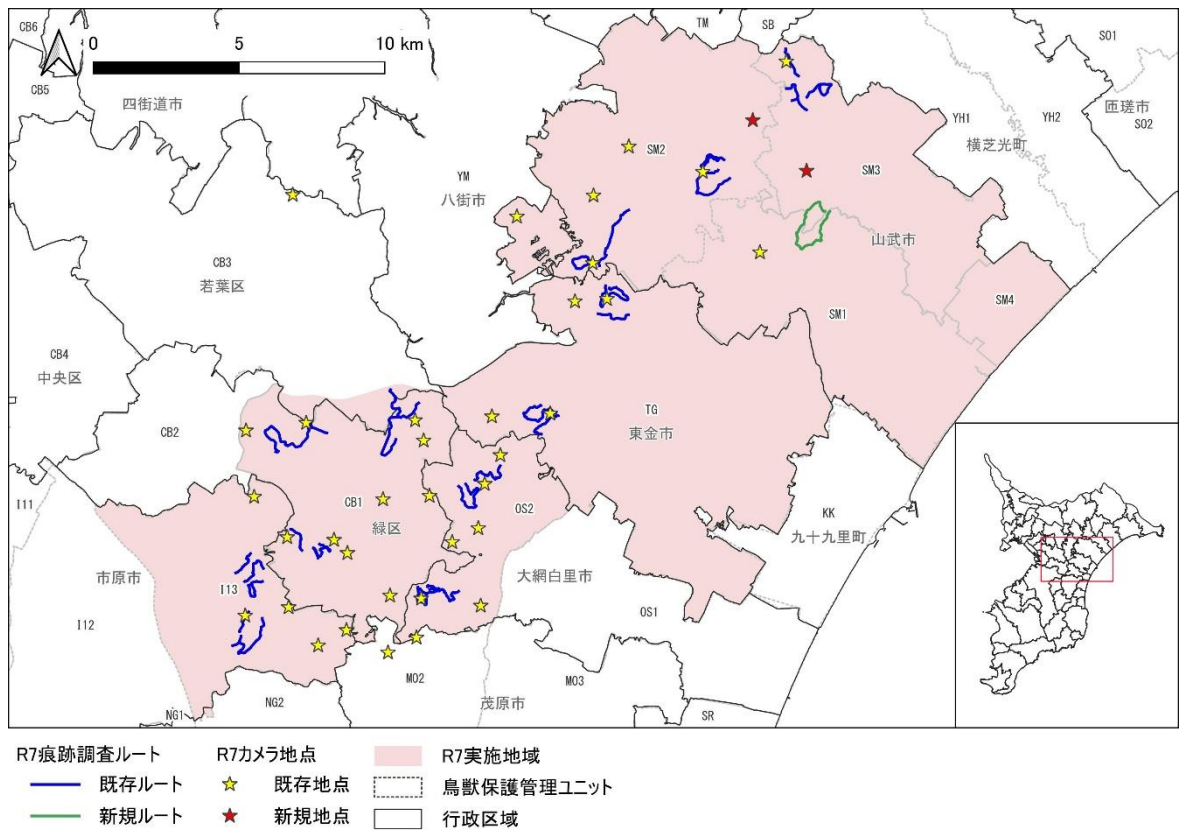


図1 痕跡調査ルート及びカメラ調査地点の分布（中部区域）

## 3. 調査方法及び調査期間

### (1) 痕跡調査

#### 1) 調査期間

地区5（県中部区域）：令和7年11月24日～29日

## 2) 調査方法

県中部区域では、令和6年度に調査を実施した3～5km程度の12ルート、及び新規で設定した1ルートの計13ルートを対象に痕跡調査を実施した。痕跡調査では、調査ルートの左右1mずつ（計2m）を調査範囲とし、その中で確認された痕跡を種類ごと（「食痕」「食痕以外の掘り返り」「糞」「こすり痕」「ヌタ場」「イノシシの獣道（泥付き）」「成獣及び幼獣別の足跡」）に記録した。なお、各ルートは、森林・水田・畑など出来る限り多様な環境が含まれるように設置した。以上の内容を100m区間単位で記録した。

表1 痕跡調査ルートの概要（県中部区域）

ルート	市町	ユニット	距離 (km)	備考
BC17	大網白里市	OS2	4.5	
BC18	千葉市	CB1	3.2	
BC19	市原市	I13	4.1	
GC20	千葉市	CB1・CB3	4.6	
BC21	千葉市	CB1・CB3	4.9	
BC22	大網白里市	OS2	4.9	
BC23	市原市	I13	3.6	
BC24	東金市	TG	4.0	
BC25	東金市	TG	4.1	
BC26	山武市	SM2	4.1	
BC27	山武市	SM2	4.0	
BC28	山武市	SM3	4.4	
BC29	山武市	SM1・SM3	4.6	R7 新規設定

## (2) カメラ調査

### 1) 調査期間

地区5（県中部区域）：カメラ調査：令和7年1月～11月

### 2) 調査方法

カメラの設置にあたっては、獣道等イノシシが撮影されやすい場所を選定し、立木に獣道が撮影されるように画角を調整して設置した。

回収したデータは、①地点別・月別のイノシシの撮影枚数、②イノシシの成獣メスの地点別・月別撮影枚数で集計した。なお、成獣メス等の判断基準について、以下のとおり。

- ・成獣メス：幼獣または体サイズの小さな個体とともに写っている大きな個体。または発達した乳房が確認された個体。
- ・幼獣：縞模様がある個体。または成獣メスとともに写っている体サイズの小さな個体。

また、集計した撮影枚数とカメラ稼働日数から、各カメラ地点についての撮影頻度（1日あたりの撮影枚数）を算出した。そして、各カメラ地点の撮影頻度についてユニットごとの平均値を算出した。

## 4. 結果

### (1) 痕跡調査

#### 1) 令和7年度調査結果

令和7年度調査の取りまとめ結果については、調査者間のばらつきを減らすため、各ルートを100m毎の区間に分け、痕跡率（痕跡が確認された区間数／総区間数（%））を算出した。県中部におけるイノシシ痕跡調査結果を表2～表3、及び図2～図3に示す。

- いずれの調査ルートにおいてもイノシシの痕跡が確認され、特に、千葉市の調査ルート（BC18）及び山武市のルート（BC29）で痕跡率が高かった。
- ユニットごとでは、山武市のSM1の痕跡率が最も高く、次いで大網白里市のOS2及び千葉市のCB1であった。

表2 調査ルートごとのイノシシ痕跡数、痕跡密度、痕跡率（県中部区域）

調査ルート	市町/大字	ユニット	総距離(km)	片側1m以内の痕跡数								痕跡合計	痕跡密度(個/km)	痕跡確認区間数	痕跡率(%)
				掘返し	食痕	糞	こすり跡	ヌタ場	泥付き獣道	足跡(成獣)	足跡(幼獣)				
BC17	大網白里市	OS2	4.5	41	0	0	1	2	1	29	9	83	18.4	30	71.4
BC18	千葉市	CB1	3.2	63	2	0	11	2	64	19	1	162	50.6	28	93.3
BC19	市原市	I13	4.1	38	0	0	0	0	26	8	4	76	18.5	22	56.4
BC20	千葉市	CB1・CB3	4.6	55	0	0	0	0	2	13	2	72	15.7	23	50.0
BC21	千葉市	CB1・CB3	4.9	103	1	0	3	1	44	27	5	184	37.6	40	85.1
BC22	大網白里市	OS2	4.9	92	0	0	16	0	18	60	1	187	38.2	38	79.2
BC23	市原市	I13	3.6	37	0	0	0	0	20	25	8	90	25.0	29	85.3
BC24	東金市	TG	4	49	0	0	1	0	10	17	6	83	20.8	30	75.0
BC25	東金市	TG	4.1	47	0	0	3	0	34	9	6	99	24.1	28	66.7
BC26	山武市	SM2	4.1	20	0	0	0	0	5	4	0	29	7.1	12	29.3
BC27	山武市	SM2	4	126	0	0	6	0	6	14	8	160	40.0	26	56.5
BC28	山武市	SM3	4.4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.2	1	2.2
BC29	山武市	SM1・SM3	4.6	64	0	0	6	5	25	36	11	147	32.0	42	91.3

表3 ユニット別の平均痕跡率（県中部区域）

市町	ユニット	平均痕跡率(%)
千葉市	CB1	75.0
	CB3	33.3
市原市	I13	69.9
大網白里市	OS2	75.6
山武市	SM1	87.1
	SM2	43.7
	SM3	26.2
東金市	TG	70.7

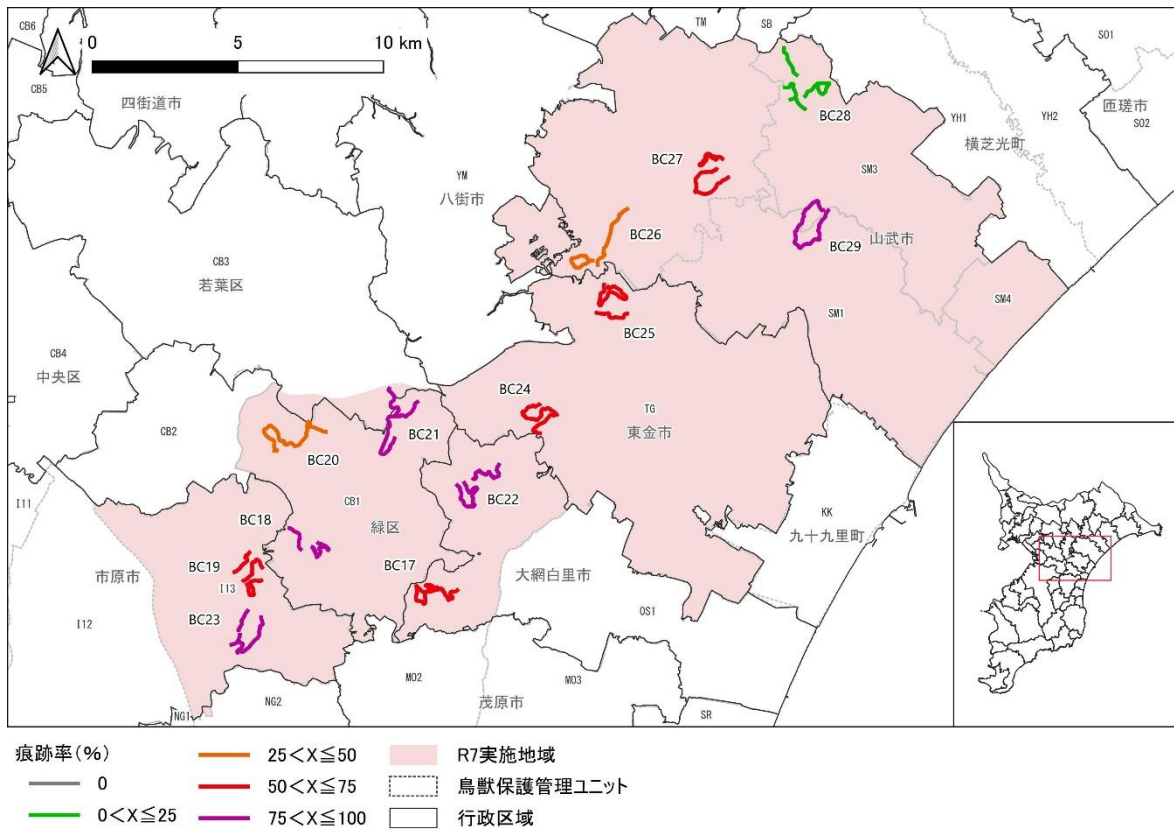


図2 イノシシ痕跡率(%) (県中部区域)

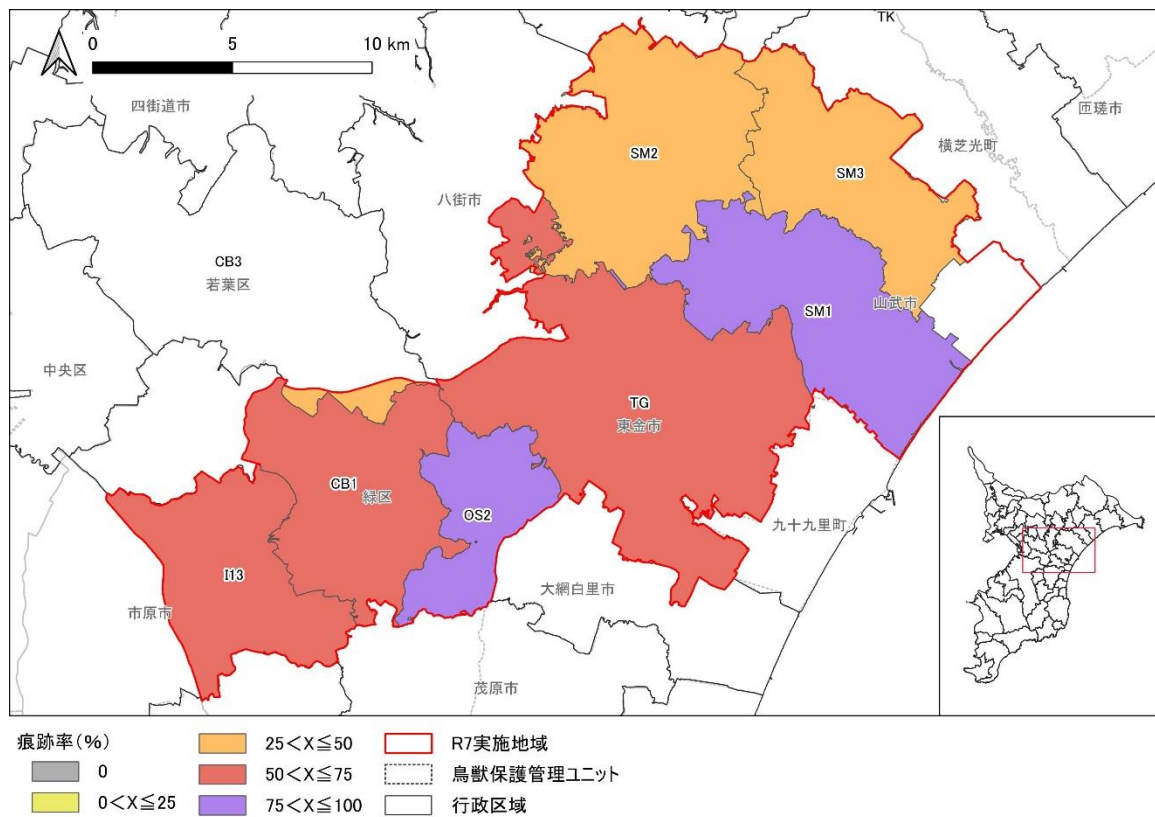


図3 ユニットごとのイノシシ平均痕跡率(%) (県中部区域)

## 2) 経年変化

平成 27 年以降の県中部区域におけるユニットごとのイノシシ痕跡調査結果を表 4 に示す。なお、痕跡の集計方法が各調査員の判断によって変化する可能性があり、糞塊密度と比較すると定量性の確保に課題があることから、特に年度間の結果について単純な比較はできない点に注意が必要である。

- 大網白里市及び千葉市では、調査時期を 11 月に統一した平成 29 年以降、増減を繰り返しながら推移してきたが、令和 5 年から令和 7 年にかけては、継続的な増加傾向がみられる。また、令和 2 年から調査を開始した東金市においても、令和 5 年以降、同様に継続的な増加がみられた。
- なお、令和 6 年から令和 7 年にかけて痕跡密度が減少したユニットは 2 箇所みられたが (I13、SM2)、複数年にわたって明確な減少傾向がみられたユニットは確認されなかった。

表 4 平成 27 年度から令和 6 年度における痕跡密度 (個/km) (県中部区域)

市町村	ユニット	痕跡密度(個/km)										痕跡密度 (個/km)
		H27	H28	H29	H30	H31	R02	R04	R05	R06	R07	R03
千葉市	CB1	-	-	12.62	44.67	2.83	18.1	25.68	3.5	17.38	34.42	103.8
千葉市	CB3	-	-	-	-	0.31	8.51	5.76	1.66	6.23	16.67	45.26
市原市	I13	-	-	-	-	2.62	39.19	72.1	20.37	49.7	22.74	234.17
茂原市	MO2	2.57	0	3.79	18.48	15.31	16.19	46.64	17.91	38.18	-	161.19
大網白里市	OS2	-	-	2.75	28.23	18.82	14.91	27.7	13	22.76	30	164.43
山武市	SM1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30.32	-
山武市	SM2	-	-	-	-	-	-	9.03	22.28	26.16	21.72	154.06
山武市	SM3	-	-	-	-	-	-	-	0.65	0.65	8.85	-
東金市	TG	-	-	-	-	-	20.43	35.38	12.4	21.12	22.2	239.44

密度低  密度高

※1 表の「-」は該当年度に痕跡密度調査を実施していないことを示す。

※2 平成 27 及び 28 年度は夏季 (6 月~7 月)、平成 29 年度以降は 11 月に調査を実施しているため、比較は参考程度とする。

※3 令和 3 年度は調査方法が異なるため、比較は参考程度とする。

## (2) 自動撮影カメラ調査

### 1) 令和7年度調査結果

各カメラ地点におけるイノシシ全体の撮影頻度と成獣メスの撮影頻度を図4及び図5に、各ユニットの調査地点のイノシシ全体及び成獣メスの全期間の撮影頻度の平均を図6及び図7に示す。

- 県中部区域の全域でイノシシ全体の撮影頻度の高い地点が点在していた。特に、市原市から大網白里市にかけては、撮影頻度が比較的高い地点がまとまって分布している傾向がみられ、成獣メスの撮影地点においても同様の傾向がみられた。
- ユニットごとのイノシシ全体の撮影頻度は、県中部区域の西側の市原市（I13）や大網白里市（OS2）、及び東側の山武市（SM2）で高く、このうちメスの撮影頻度が最も高いユニットは、大網白里市（OS2）であった。

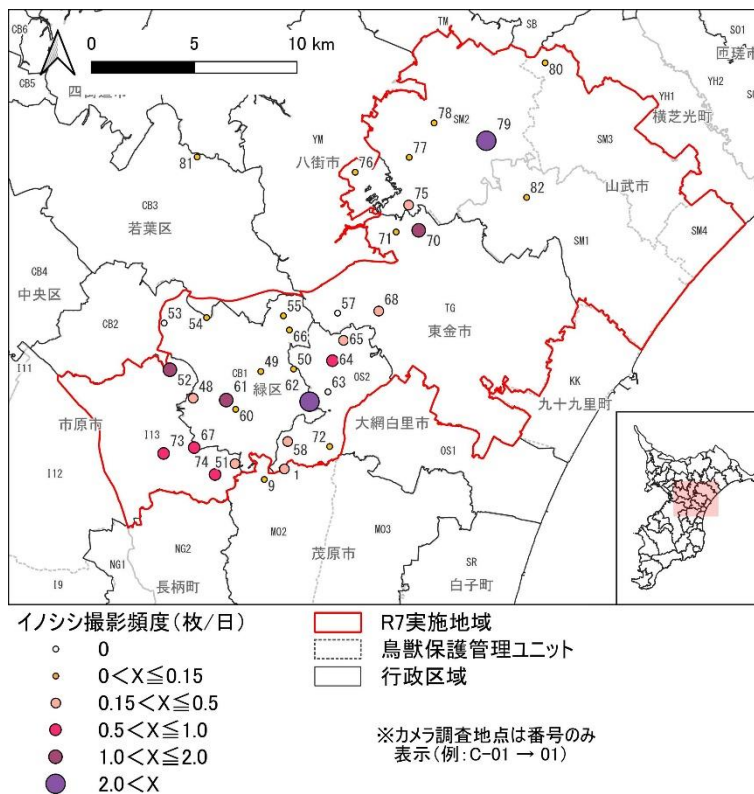


図 4 イノシシの撮影頻度 (令和 7 年 1 月～令和 7 年 11 月)

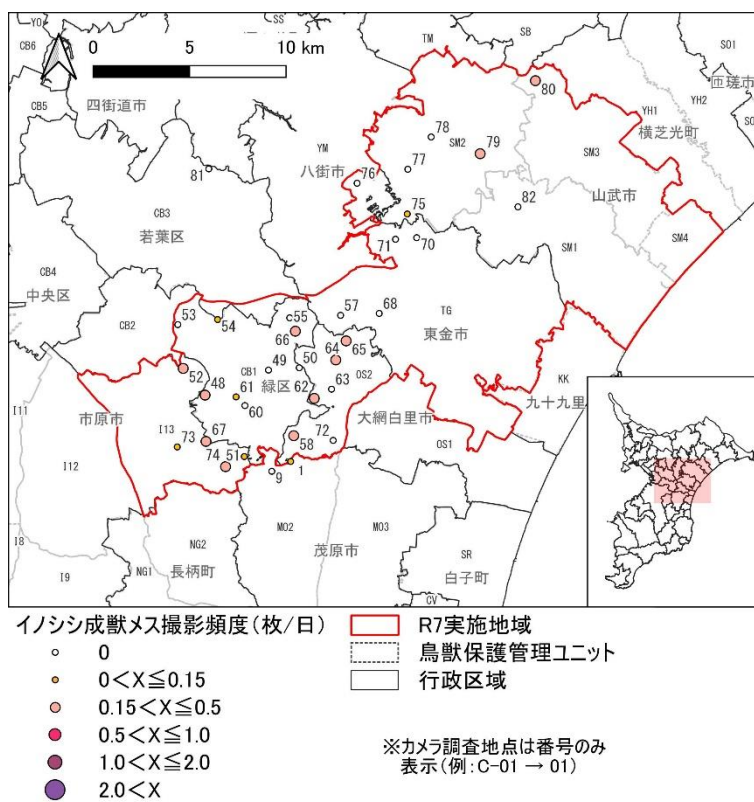


図 5 イノシシ成獣メスの撮影頻度 (令和 7 年 1 月～令和 7 年 11 月)

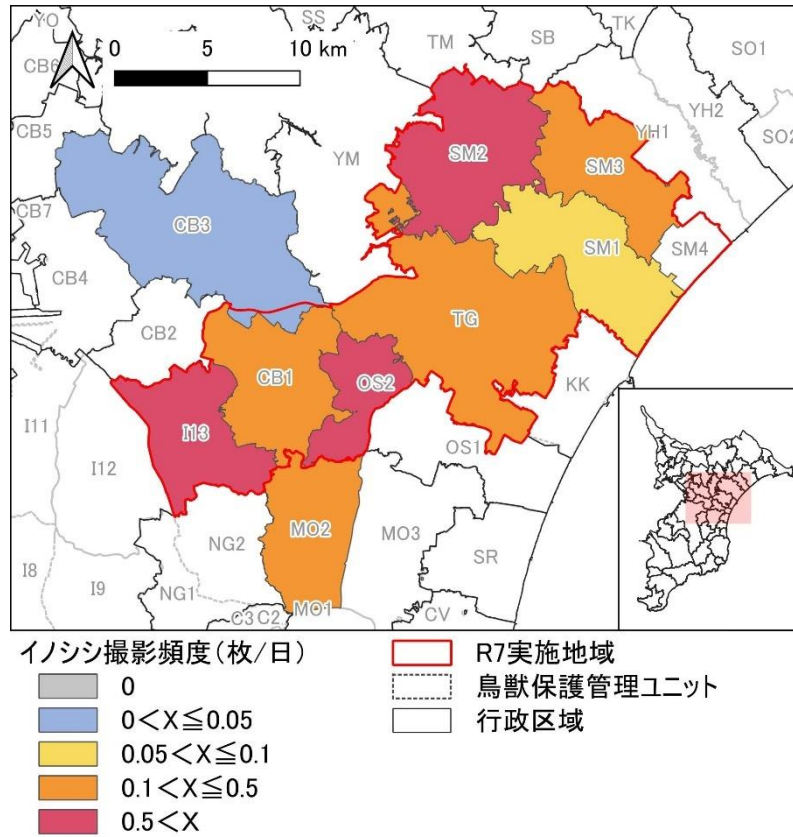


図 6 ユニットごとのイノシシの撮影頻度（令和7年1月～令和7年11月）

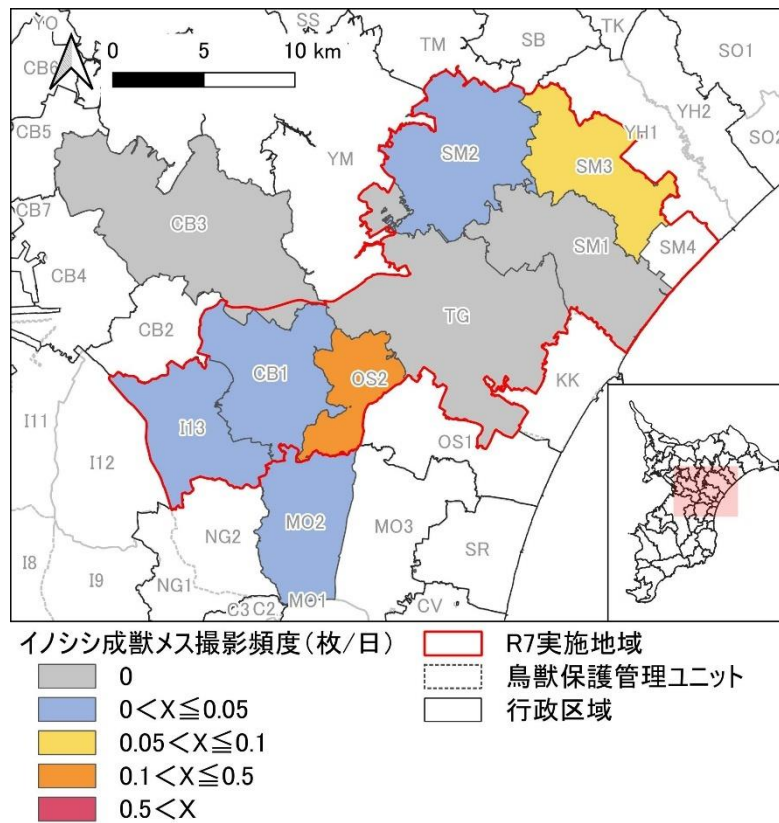


図 7 ユニットごとのイノシシ成獣メスの撮影頻度（令和7年1月～令和7年11月）

## 2) 経年変化

平成 29 年から令和 7 年の県中部区域におけるユニットごとのイノシシ全体の撮影頻度を、表 5 に示す。なお、本区域におけるカメラは平成 28 年から設置されているが、当該年はカメラの設置期間が 6 か月以下であるため、比較対象から除外している。

- 茂原市 (M02) では、平成 29 年から令和 4 年にかけて撮影頻度に増加傾向がみられていたが、令和 4 年度をピークに減少傾向に転じ、令和 7 年度には平成 29 年度以降最も低い値となった。また、市原市 (I13) 及び大網白里市 (OS2) においても、令和 5 年度から令和 7 年度にかけて撮影頻度に減少傾向がみられている。
- 一方で、千葉市 (CB1) 及び東金市 (TG) は令和 4 年度以降減少傾向がみられていたが、令和 7 年度に増加した。一方、山武市 (SM2) では、年度ごとに変動しながら推移しており明らかな傾向はみられなかった。

表 5 平成 29 年度から令和 7 年度におけるユニットごとの撮影頻度 (県中部区域)

市町村	ユニット	撮影頻度 (枚/日)								
		H29	H30	H31	R02	R03	R04	R05	R06	R07
千葉市	CB1	-	-	0.111	0.107	0.162	0.434	0.326	0.167	0.186
	CB3	-	-	-	0.009	-	-	-	-	0.034
市原市	I13	-	-	-	0.357	0.385	0.768	0.967	1.419	0.659
茂原市	M02	0.452	0.482	0.709	0.503	0.677	2.907	2.324	0.831	0.208
大網白里市	OS2	-	-	-	0.138	0.251	0.502	0.953	0.931	0.853
山武市	SM1	-	-	-	-	-	-	-	-	0.051
	SM2	-	-	-	-	-	0.724	0.428	0.831	0.755
	SM3	-	-	-	-	-	-	-	-	0.108
東金市	TG	-	-	-	0	0.082	0.359	0.167	0.127	0.338

撮影頻度低  撮影頻度高

※「-」調査されていない、もしくはカメラ設置期間が 6 ヶ月以下のものは比較対象外とし、データなし。  
 ※データは、1 月～11 月で集計

### (3) 統合密度指標

痕跡調査の結果とカメラ調査の結果は、調査手法、調査期間、調査区域などの違いなどから調査結果の傾向が異なる場合があり、2つの指標からイノシシの生息状況の傾向を判断することが困難なことがある。そのため、本事業では痕跡密度と撮影頻度の結果を基に統合密度指標（相対密度指標）を算出し、1つの指標で示すことでイノシシの密度傾向を評価した。

統合密度指標はユニットごとの密度指標値を平均0、標準偏差1になるように標準化し、各年度、ユニットで平均値を取ることで統合密度指標を算出した。捕獲の評価にあたっては、統合密度指標の値（密度）を低下させることを目標とし、イノシシは個体数の年変動が大きいことを考慮し、3年間の傾向から評価した。

統合密度指標を表6に示す。

- 千葉市（CB1、CB3）、大網白里市（OS2）、山武市（SM2、SM3）、東金市（TG）は、令和5年から令和7年にかけて密度指標に増加傾向がみられた。
- 一方、茂原市（M02）では密度指標に減少傾向がみられた。
- 多くのユニットで密度指標が増加の傾向を示しているため、地域全体として「生息密度の低下」という目標には至っていないと考えられる。

表6 統合密度指標の結果（県中部区域）

市町村	ユニット	R05	R06	R07
千葉市	CB1	-0.40	-0.22	0.38
千葉市	CB3	-0.71	-0.52	-0.29
市原市	I13	0.49	1.52	0.50
茂原市	M02	1.47	0.80	-0.35
大網白里市	OS2	0.29	0.47	0.91
山武市	SM1	-	-	0.13
山武市	SM2	0.12	0.48	0.57
山武市	SM3	-0.75	-0.80	-0.44
東金市	TG	-0.30	-0.16	0.17

値低  値高